

# 短歌を鑑賞しよう

## 情景を整理する

問1 短歌を読んで答えなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。どのような天候や気候の様子が描かれていますか。

解答 冷たい風が吹く寒い様子

補足：「木枯らし」や「手だけ冷たい」から、冷たい風が吹く寒い様子が分かります。

問2 短歌を読んで答えなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。この日、「君」は話者と一緒にいますか。

解答 一緒にいない

補足：第四句の「君のいない日」から分かります。「いない」も可とします。

## 表現と心情

問3 話者の心情として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。この短歌から読み取れる気持ちはどれですか。

ア 君がいないことへのさびしさ

イ 一人で帰れることへの喜び

ウ 街路樹が揺れることへの怒り

解答 ア

補足：寒さの情景と「君のいない日」が重なり、さびしさが表れています。

問4 三十字程度で説明しなさい。

「木枯らしに／揺れる街路樹／帰り道／君のいない日／手だけ冷たい」。最後を「手だけ冷たい」と結ぶことで、話者のさびしさがどのように強められていますか。

解答 体を感じる寒さと、君がいない心のさびしさが重なって伝わる。

補足：「寒さ」と「君がいないことによるさびしさ」の両方に触れていれば可とします。

## 鑑賞問題

問5 短歌を読んで答えなさい。

「夜明け前／静かな駅で／電車待つ／知らない町へ／胸が弾んだ」。話者はどこで電車を待っていますか。

解答 駅

補足：第二句の「静かな駅で」から分かります。

問6 話者の心情として最も適切なものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

「夜明け前／静かな駅で／電車待つ／知らない町へ／胸が弾んだ」。この短歌から読み取れる気持ちはどれですか。

ア 知らない町へ向かうことへの期待

イ 電車に乗りたくないという不満

ウ 駅が静かすぎることへの恐怖

解答 ア

補足：「知らない町へ」と「胸が弾んだ」から、これから始まることへの期待が読み取れます。

問7 三十字から四十字程度で説明しなさい。

「夜明け前／静かな駅で／電車待つ／知らない町へ／胸が弾んだ」。話者が知らない町へ向かうことを楽しみにしていると分かるのはなぜですか。短歌中の言葉を根拠に説明しなさい。

解答 「知らない町へ」と「胸が弾んだ」という言葉から、知らない町へ向かう期待が分かる。

補足：「胸が弾んだ」などを根拠に、知らない町へ向かう期待や楽しみを説明できていれば可とします。